

XDCAM Drive Software Ver 6.3.0 版をリリースします。

【Ver. 6.3.0 概要】

- ・ Windows11 対応
- ・ macOS 12 Monterey 対応
- ・ Apple シリコン搭載 Mac 対応
- ・ PDW-U4 新 Firmware 対応
- ・ 定格容量、実効容量、実効効率の表示対応
ご注意：定格容量/実効容量/空き容量は目安であり、誤差を含みます。
- ・ 特定の環境にて稀に一般メタデータの生成に失敗する件に対する改善
- ・ 特定の環境にて稀に XAVC のダイレクト記録に失敗する件に対する改善
- ・ 特定の環境にて稀に MPEG2 のダイレクト記録に失敗する件に対する改善

【動作環境】

- ・ 対応 OS

Windows

Microsoft Windows 8.1 x64
Microsoft Windows 10 x64
Microsoft Windows 11 x64

Mac

macOS 10.15.7
macOS 11.6.7※
macOS 12.4 ※

※Intel Mac 製品に加え、Apple シリコン(M1 チップ)搭載 Mac 製品に対応しました。

- ・ CPU

Windows

6th Generation Intel Core i5 2.3GHz 以上

Mac

6th Generation Intel Core i5 2.3GHz 以上

- ・ メモリー

2GB 以上 (3層 RE ディスクおよび4層 W0 ディスク使用時は4GB)

- ・ USB

USB 2.0 (Hi-Speed USB)

本機との接続には、USB 2.0 ホストコントローラーが必要です。

USB 3.0 [PDW-U2 使用時]

本機との接続には、USB 3.0 ホストコントローラーが必要です。

USB 3.2 [PDW-U4 使用時]

本機との接続には、USB 3.2 ホストコントローラーが必要です。

PDW-U4 は、USB 2.0 での接続は動作保証していません。

Mac の場合本体の USB ポートのみサポートします。

・ PC の電源設定

スリープ状態にならないように設定してください。

スリープ状態になった場合、PC とドライブの接続およびドライバーが正常に作動しない場合があります。

Windows

[スタート]ボタン>[コントロールパネル]>[電源オプション]>[コンピューターがスリープ状態になる時間を変更]>「コンピューターをスリープ状態にする」を「適用しない」に設定して、[変更の保存]ボタンをクリックする。

Mac

[システム環境設定]>[省エネルギー]>「コンピューターのスリープ」を「しない」に設定する。

・ PDW-U4 対応ディスクについて

以下のディスクは、PDW-U4 で読出しのみ可能です。

生産が終了しているソニー製 1 層ディスク (PFD23)

すべての TDK 製ディスク (PD-RE23xx、PD-RE50xx)

2013 年までに発売された FUJIFILM 製 (PD711、PD711DL)*

2013 年までに発売された maxell 製 (PD-23SL、PD-50DL)*

*PDW-U4 に挿入後、XDCAM drive software で確認できます。

PDW-U1、PDW-U2 では、上記ディスクの読出し/書き込みともに可能です。

・ USB ケーブルを通じた電源供給について

PDW-U1/U2 は、USB ケーブルを通じて給電することはできません。

PDW-U4 は、USB PD 3.0 準拠で 60 W 以上の電源供給ができるコンピューターに接続することで、USB ケーブルでの電源運用が可能です。

最大接続台数は 32bit 機で 1 台、64bit 機で 4 台です。

USB ハブ経由の接続には対応していません。

ご注意：

この【動作環境】は、すべてのコンピューターに適用されるものではありません。

【Ver6.3.0 で対応した内容】

1. Apple シリコン対応

・Apple シリコン搭載 Mac にインストールする場合、Security Policy の設定変更が必要です。また、Rosetta をインストールする必要があります。詳細は下記の「XDCAM Drive Software のインストール方法」を参照下さい。

・Apple シリコン搭載 Mac に PDW-U4 を繋ぐ場合、以下のシリアルに関しては、HUB 接続を行ってください。HUB を接続しない場合、以下の症状が発生する可能性があります。

- ・ PDW-U4 が XDCAM Drive Utility に認識されない。
- ・ データ伝送中に USB 接続が切れ、読み出しや書き込みが停止する。
- ・ 不正データを記録する。

対象となる U4 シリアルナンバー

PDW-U4 SYM 0100001~0100941

PDW-U4 CN 0500001~0500115

接続可能な HUB は、以下の通りです。

- ・ Belkin Thunderbolt 3 Dock <TypeC(3.1 Gen2), (Thunderbolt 3)>
- ・ OWC Thunderbolt Hub <TypeC> (複数接続可)
- ・ Micro Solution Thunderblot 4/USB 4 Hub PD mini Dock <TypeC> (複数接続可)
- ・ Apple USB-C to Digital AV Multiport Adapter <TypeA>

HUB 接続できない環境の場合は、サービスへお問い合わせください。

2. PDW-U4 のファームウェアを更新しました。

V2.010 から V2.100 での変更点

- ・ 記録禁止スイッチ ON 時の再生の安定性を改善しました。
記録禁止スイッチ ON 時でも、適切な調整値で再生するように修正し、読み出し速度が遅くなる、もしくは読み出し停止する現象を改善しました。
- ・ 記録特性を向上し、以下の現象を改善しました。
 - PDW-U4 で記録したコンテンツを他機種で読み出した場合に、稀にチャンネルコンディションエラーが発生する現象を改善しました。
 - ベリファイ機能 ON 記録の場合、過度に記録容量減となる現象を改善しました。
- ・ アラーム 95-525、91-55F、95-522 が通知される現象を改善しました。
未フォーマットの 4 層カートリッジ挿入時の処理を修正し、稀に上記アラームが通知される現象を改善しました。

3. 定格容量、実効容量、実効効率を表示するようにしました。

リアルタイムデータ (MXF データ) に関する、定格容量と実効容量の比率を表示するようにしました。

詳しくは、ヘルプガイドの「フォーマット画面 (ディスク操作メニュー)」の項を参照ください。

4. 特定の環境にて稀に一般メタデータの生成に失敗する件を改善しました

特定のアプリケーション環境で作成された、特殊な MXF ファイルを DISC にコピーすると、一般メタデータを書き込み時に不正となり、その結果、その MXF ファイルを読めなくなることが分かりました。そのような MXF でも正しく書き込めるように対応しました。

5. 特定の環境にて稀に XAVC のダイレクト記録に失敗する件を改善しました

特定のアプリケーション環境で作成された、特殊な XAVC クリップを Disc に書こうとすると、書き込みに失敗して、その Disc を Drive に再挿入するまで、一時的にマウントできなくなることが分かりました。そのような MXF でも正しく書き込めるように対応しました。

6. 特定の環境にて稀に MPEG2 のダイレクト記録に失敗する件を改善しました

特定のアプリケーション環境で作成された、デコードできない異常な MPEG2 クリップを Disc に書こうとすると、書き込みに失敗して、その Disc を Drive に再挿入するまで、一時的にマウントできなくなることが分かりました。そのような MXF は書き込まないように対応しました。

=====

1. XDCAM Drive Software のインストール方法

Windows)

- バージョンアップを含め再インストールする場合は、「プログラムの追加と削除」から「XDCAM Drive Software」を完全に削除して、PC を再起動してください。
- XDCAMDriveSoftware_6_3_0_win.zip を解凍して、XDCAMDriveSoftware_6_3_0_win.exe ファイルを実行してください。
順次表示される指示に従って操作すると、XDCAM Drive Software 及びユーティリティソフトウェアがインストールされます。
ユーザー設定の値は初期化されます。
- XDCAM Drive Software インストール終了後、ユーティリティソフトウェアを起動し、PDW-U1、PDW-U2 または PDW-U4 のファームウェアのバージョン確認※を行い、必要に応じてアップデートを行なって下さい。
※後述する、(対応ファームウェアバージョン) を参照ください。

Mac)

- Apple シリコン 搭載 M1 Mac にインストールする場合は、セキュリティポリシーの設定変更が必要です。Apple シリコンを搭載した Mac に XDCAM Drive Software を動作させるときは、あらかじめ下記の手順でセキュリティポリシーの設定を「低セキュリティ」に変更する必要があります。
- Apple シリコンを搭載した Mac で、アップルメニュー>[システム終了]と選択してコンピューターの電源を切ります。
 - [起動オプションを読み込み中]と表示されるまで電源ボタンを押したままにします。
 - [オプション]をクリックしてから、[続ける]をクリックします。



- macOS 復旧でユーザ選択が求められる場合は、[次へ]をクリックし、必要に応じて、管理者アカウントのパスワードを入力します。
- [復旧]アプリケーションで、[ユーティリティ] > [起動セキュリティユーティリティ]と選択します。
- 使用する起動ディスクを選択します。ディスクが FileVault で暗号化されている場合は[ロックを解除]をクリックし、パスワードを入力してから[ロックを解除]をクリックします。
- [セキュリティポリシー]をクリックします。

8. [低セキュリティ]を選択し、[確認済みの開発元から提供されたカーネル機能拡張のユーザー管理を許可]チェックボックスを選択して、レガシーのカーネル機能拡張を使用するソフトウェアのインストールを許可します。その際、必要に応じて管理者アカウントとパスワードを入力します。
9. Mac を再起動して変更内容を適用します。

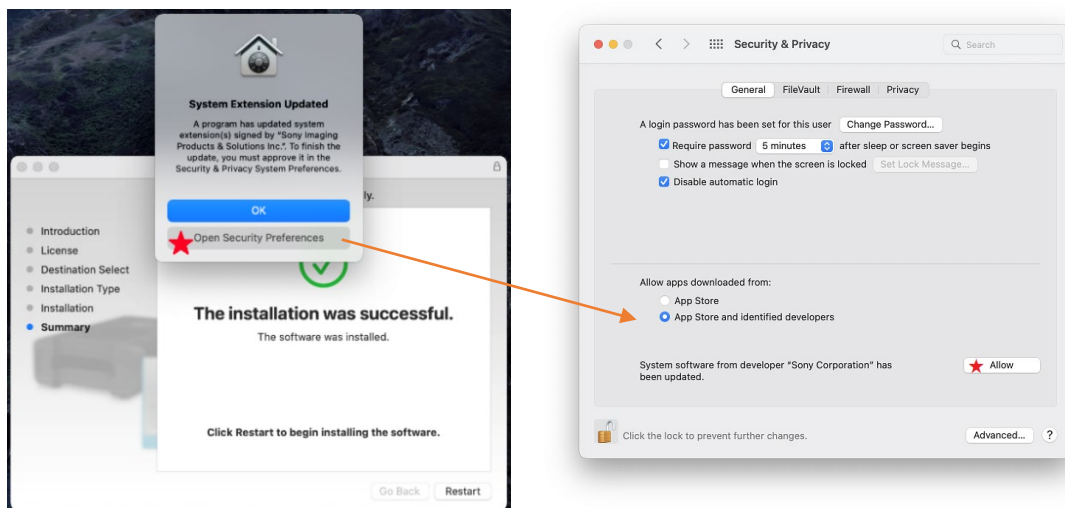
ご注意:

XDCAM Drive Software のインストール時に、コンピューターに Rosetta をインストールする必要があります。

なお、「セキュリティポリシーの設定変更」については、インストールした後から変更することも可能です。

- ・ macOS 10.15 もしくは 11.6、12.4 にインストールする際は、システムソフトウェアの許可が必要です。

1. XDCAM Drive Software 及びユーティリティソフトウェアは上書きインストールされます。
ただし、Ver1.0 のユーティリティソフトウェアを、工場出荷設定以外の場所にインストールしてご使用されていた場合は、手で削除してください。
Ver2.1 以降の XDCAM Drive Software をお使いの方は、前バージョンのユーザー設定値が引き継がれます。
2. XDCAMDriveSoftware_6_3_0_mac.zip を解凍して XDCAMDriveSoftware_6_3_0_mac.dmg を開き、インストールパッケージを実行してください。
順次表示される指示に従って操作すると、XDCAM Drive Software 及びユーティリティソフトウェアがインストールされます。
3. インストール中に以下のようなダイアログが表示された場合は “Open Security Preferences” を選択して、「セキュリティとプライバシー」画面を開きます。
その中にある、「システムソフトウェアの読み込み」を”許可”してください。新しく追加された物がある場合は、それらもチェックするようにしてください。なお、前回のインストール時にすでに許可されていて、同じソフトウェアだった場合は、不要になります。



上記の図は macOS Monterey の場合の例です。

ご注意:

インストール時に許可しなかった場合、OS 再起動後には元に戻ってしまいます。その場合は、再度、インストーラーを実行して、システムソフトウェアの許可を設定してください。

4. macOS 10.15 以降では、フルディスクアクセスの設定が必要です。
ヘルプガイドの「フルディスクアクセスの設定手順」の項に従って、設定してください。
なお、「フルディスクアクセスの設定」については、インストールした後から設定することも可能です。

5. XDCAM Drive Software インストール終了後、ユーティリティソフトウェアを起動し、PDW-U1、PDW-U2
または PDW-U4 のファームウェアのバージョン確認※を行い必要に応じてアップデートを行なって下さい。
※後述する、(対象ファームウェアバージョン) を参照ください。

- 複数の PDW-U1、PDW-U2、PDW-U4 ドライブが接続されていて、マウントされたディスクに無題の場合、最初に挿入されたディスクの内容が他のディスクの内容として Finder に表示されることがあります。これを避けるために、ディスクに名前を付けてください。

(対応ファームウェアバージョン)

PDW-U1:v2.900

PDW-U2:v3.420

PDW-U4:v2.100

2. XDCAM Drive Software について

- ・ macOS Big Sur、または Apple T2 セキュリティチップを搭載した Mac では「安全な起動」機能がデフォルトでは「完全なセキュリティ」に設定されているため、ドライブを接続した状態で Mac を起動、または再起動すると XDCAM ディスクが正常にマウントされません。

このような場合、ドライブの電源を OFF→ON する、USB ケーブルを再接続する、あるいは Mac を起動後にドライブを接続してください。

- ・ macOS 10.13 以降の環境においてドライブ、XDCAM ディスクが認識されないことがあります。また macOS Big Sur においては XDCAM Drive Software のアップデート後にドライブ、XDCAM ディスクが認識されないことがあります。

このような場合 macOS のセキュリティ機能により XDCAM Drive Software 含まれるシステムソフトウェアのロードがブロックされている可能性があります。下記手順にてブロックを解除してください。

1. ドライブがつながっていない状態で Mac を再起動し、起動後ドライブを接続してください。この時システム環境設定は閉じておいてください。
2. システム環境設定 / セキュリティとプライバシー / 一般 に Sony Corporation のシステムソフトウェアに対する許可ボタンが出ているかを確認し許可をしてください。
その後、ドライブがつながっていない状態で Mac を再起動してください。

- ・ XDCAM ディスクにファイルを書き込むアプリケーションは、作成、書き込み、クローズ関数の返されたエラーをチェックする必要があります。
さらに、アプリケーションは、ファイルの書き込みが完了した後、XDCAM ディスクに書き込まれたファイルが存在すること、ファイルのサイズがソースファイルのサイズと等しいことを確認する必要があります。

- ・ macOS Catalina において、多数ファイルを Finder にてコピー、または削除をした場合、一部ファイル操作を完了できないことがあります。
その場合は再度 Finder にて同様の操作をしていただくか、ターミナルで同様の操作を実施ください。

- ・ PDW-HD1500, PDW-700 シリーズ の Ver1.2 以降でフォーマットされた Disc を使用して PDW-U1 で書き込みを行う際は、XDCAM Drive Software を必ず、Ver2.1 以降にアップデートしてください。
- ・ XDCAM Drive Software Ver3.0.0 以降で作成したディスクは Ver2.3.2 以前で使用できません。XDCAM Drive Software を、必ず Ver3.2.0 以降にアップデートしてください。
- ・ XDS Ver1.1 以降は、XDCAM Drive Software Ver2.3.2 と互換性がありません。XDS Ver1.1 以降と XDCAM Drive Software を併用する場合は、XDCAM Drive Software Ver3.2.0 以降を使用してください。
- ・ XDCAM Drive Software と一部のアンチウイルスソフトウェア、スパイウェアツール、OS 標準以外の UDF2.5 または UDF2.6 ファイルシステムドライバを含む製品を同時にインストールすると動作が不安定になる場合があります。
- ・ OS 標準の UDF2.5 または UDF2.6 のファイルシステムドライバであっても極稀に XDCAM Drive を認識できなくなる事があります。その場合は再度 Disc の抜き差し、若しくは PDW-U1、PDW-U2 または PDW-U4 と PC との接続し直しで解消する事があります。
- ・ AV ファイルを UserData ディレクトリーや General ディレクトリー下に置いた場合、スムーズに再生されない場合があります。
- ・ 本機では、以下のディスクの読み出しはできません。
 - Blu-ray Disc
 - Professional Disc for Data
- ・ ACCESS インジケータが点滅中は、AV ファイルがスムーズに再生されない場合があります。

3. XDCAM Drive Utility について

- ・ 起動
Windows 版の場合は、XDCAM Drive Utility は常駐されます (設定で常駐を外すこともできます)。
Mac 版の場合は、XDCAM Drive Utility を指定して起動してください。
- ・ ファームウェアについて
更新する際はあらかじめディスクを取り出してから更新を行なってください。
更新中は PDW-U1、PDW-U2 または PDW-U4 の本体およびコンピューターの電源を切ったり、USB ケーブルを抜き差ししたりしないでください。
更新が終了した際は、PDW-U1、PDW-U2 または PDW-U4 の電源を入れ直す必要があります。
下位のバージョンへのダウングレードはできません。

- ・ボリューム修復機能について

本ソフトウェアの修復機能は、あらゆる破損条件からの修復を保証するものではありません。

PDW-U1、PDW-U2 または PDW-U4 以外の XDCAM 機器で破損したディスクは、本ソフトウェアで修復することはできません。

PDW-U1、PDW-U2 または PDW-U4 で破損したディスクは、PDW-U1、PDW-U2 または PDW-U4 以外の XDCAM 機器で修復することはできません。

4. XDCAM Drive (PDW-U1/PDW-U2/PDW-U4) について

- ・PDW-U1、PDW-U2 または PDW-U4 をコンピューターに接続した状態で長期間読み書きを行わないときは、PDW-U1、PDW-U2 または PDW-U4 からディスクを排出してください。コンピューターにインストールされている、ソフトウェアによっては、意図して読み書きを行わないときも ディスクへのアクセスが行なわれ、光学ブロックの交換時期が早まったり、ディスクに悪影響を及ぼす可能性があります。
-